



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議会議員

発行：日本共産党高槻市議会議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.151 2025年9月

昨年度の決算―高槻市財政は黒字―

高槻市は昨年度
35億円の黒字でし
た。一昨年の2023
年度は26億円の黒
字、一昨年よりも9億

黒字財政を市民のために

も黒字を増やしていま
す。高槻市の財政は今
までも黒字財政でした
が、2020年度まで
は数億円規模の黒字で
した。ここ数年間は数
十億円の黒字になって
います。この黒字の要
因として市は「昨年度
は市税収入が約10億
円増えており、国の税

収が増えていることも
あり、地方自治体に
配分される交付税が
15億円増えているの
で、35億円の黒字に
なった」と説明してい
ます。

昨年度、26億円
の黒字に対して市長は
「市民のために使う」
として、12月市議会
に物価高への支援と
して「プレミアム商品
券」の発行や「水道料
金の基本料を4か月無
料にする」ことを提案
しています。また、今

知ってますか？

役所「国民健
康保険課」へ。

「資格確認情報のお知らせ」だけでも受診することができます。



マイナカードな
くても大丈夫

マイナカード
を持っている人

マイナ保険証を
持っていない人に
は、7月末までに自
治体から「資格確
認書」が届きます。
健康保険証と同じ
ように医療機関の
窓口で提示するこ
とで、今までと
同じように診察
を受けることが
できます。問
い合せは、市

国保の加入者でマ
イナ保険証を持つて
いる人には「資格情
報のお知らせ」が届
きます。マイナ保険
証が機械の不都合
で使えない時などは
「資格確認情報のお
知らせ」を見れば
受診ができます。

政治の責任放棄―国民の生活支援を急ぐべき―

地方自治体が物価高
への支援をするために
国が財政負担をします
が、参議院選挙後の8
月の臨時国会では具体
的な議論はされていま

せん。選挙前に言っ
ていた給付金について
決定ではなく、今あら
ためて議論をしていま
す。すべては秋の臨時
国会に先送りされてい

ます。
ひとり親家庭では、
夏休みの間給食がない
ため食事を3回食べら
れない世帯が増えた
との報道もありました。

親に頼れない若者を支
援する認定NPO法人
の「給付型奨学金」を
受けている学生への調
査では、91%が「苦
しくなった」と答え、

半分以上が「食事を満
足に取れていない」と
答えています。1日1
食しか食べないとい
う若者もいます。国民
の暮らし支援第一の政治
が必要です。

万博 3万人足止め

8月13日夜、大阪メトロの電気トラブルで来場者が14日にかけて会場内に閉じ込められる事態が発生しました。夢洲会場

は、トラブル発生から5時間以上経った4時ごろでした。この間、頭痛や身体

トラブルの原因 は過剰輸送とも

大阪メトロは万博にむけ、今年4月

から中央線のダイヤを改正しました。

1日の運行本数を従来の2倍以上の

379本(夢洲方面行き)に増やすと

ともに、大阪港駅

―夢洲駅間の最高速度を時速95

キロと全国一の

高速に変更、大

阪メトロ全線

の中で最も短

い2分30秒間隔に輸送力を増やしました。

安全性を重視することが必要

今回の問題で改めて浮き彫りになった

のは、会場へ行くには夢咲トンネルと夢

舞大橋しかなく、それぞれ地下鉄、バス

でしか行けない人工島で、1日20万人

目標の万博が開催されていることです。

万博協会には、台風

の季節を前に来場者の命と安全を守る

ための万全の対策とともに、そもそも

夢洲での開催を決めた責任が問われます。(大阪民主新報

高槻生活と健康を守る会(生健会) が結成される

110月に結成総会

生活と健康を守る

ていきます。

かわりなく、一致す

会とは―権利と平和

生活と健康を守る

る要求で手をつなぎ

を守り、人間らしく

会は、政党や宗教、

ます。

生きていることを実現し

考え方のちがいに

1953年創立 いのちとくらし守って～大生達のあゆみ～

1953年9月に、大阪の低所得者の生活と健康を守るため、結成される。



1960～70年代に次つぎとくらしに役立つ制度をつくらせる。

1980年代、消費税強行、福祉切りすてに反対してがんばる。

1990年代から21世紀はじめ、深刻な不況の下、餓死・孤独死、自殺など“いのち”がうばわれる状況の中で、多くの人たちの“いのち”とくらしを守ってきました。

◎白内障の眼内レンズの保険適用

◎歩行支援カーや緊急通報システムの設置

◎国民健康保険料や介護保険料の減免などを実現させてきました。

そして、誰もが人間らしいくらしができる社会をめざして、がんばっています

